

あす
子どもたちの未来をつくる

コミ・スクール
コミュニティ

松原市教育委員会

令和4年度から

コミュニティ・スクール

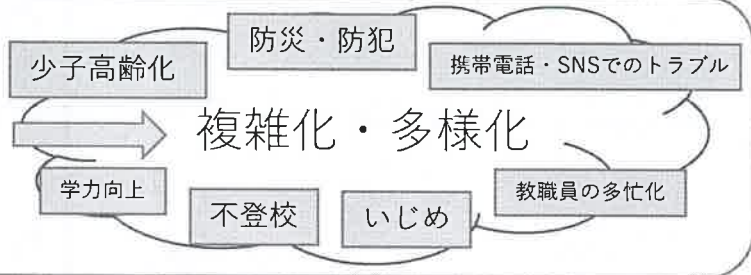
(学校運営協議会制度を導入する学校)

を

全中学校区で実施します！

今、導入するには理由があります！

子どもたちを取り巻く環境
学校が抱える課題



このような教育課題を解決する ↓ 未来を担う子どもたちの豊かな成長のために

社会総がかりでの教育の実現が不可欠に・・・

そのために

「地域とともにある学校」をめざす！

学校と地域住民が

- ①目標やビジョンを共有し、
- ②その実現のために共に協働していく。

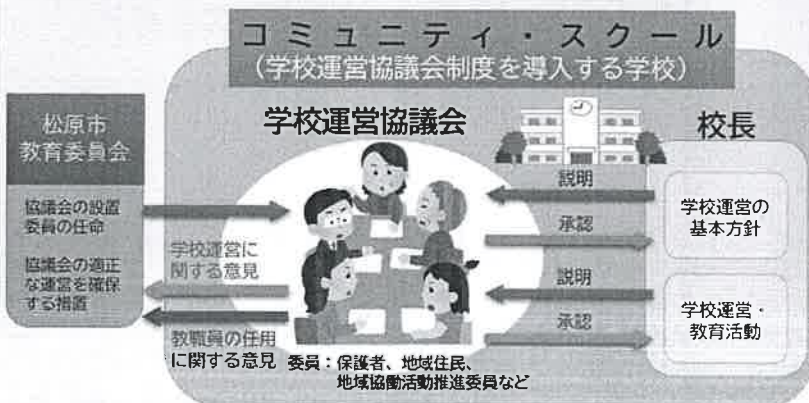
その仕組みこそが

コミ・スク (コミュニティ・スクール)
(学校運営協議会制度を導入する学校)

コミ・スク (コミュニティ・スクール) とは

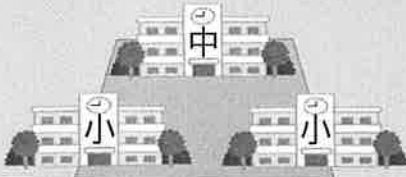
学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。



松原市の「地域とともにある学校」を進めるためには
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が連携・協働することが必要です。

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度を導入する学校)



学校運営協議会



学校と地域のより良い
連携・協働についても議論

地域学校協働活動



地域学校協働活動推進委員

自治会

社会福祉
協議会

スポーツ
団体

地域学校協働本部 (地域教育協議会)

(地域教育協議会)

地域
住民

大学生

NPO

委員として参加

連携・協働

豊かな学び



米づくりの取組み



エプロン先生の取組み



職場体験学習



放課後の居場所づくり
(図書室開放)

安心・安全



朝のあいさつ運動



わんわんパトロール隊



避難所運営
ゲーム(HUG)



子ども安全見守り隊



児童会・生徒会交流会



クリーンキャンペーン



中学校区フェスタ



土曜子ども体験活動
推進会議

つながり合う力

Q&A

Q どんな人が学校運営協議会委員になるの？

A 保護者や地域住民、地域学校協働活動推進員などから選ばれ教育委員会が任命します。特に、『地域とともにある学校づくり』を進めるにあたって当事者意識を持って参加し、学校運営に対してさまざまな視点で活発な議論ができる方が求められます。任期は2年となっていて取組みの特性に合わせて委員が交代することもあります。

Q コミュニティ・スクールを導入するメリットは？

A 子どもたちだけでなく、保護者や地域の人々、さらに教職員にとって、さまざまなメリットが期待されます。

子どもたちにとって	・学びや体験活動が充実する。 ・地域の担い手としての自覚が高まる。
保護者にとって	・地域の中で子どもたちが育てられているという安心感がある。 ・保護者同士や地域の人々との人間関係が深まる。
地域の人々にとって	・経験を活かすことでいきがいや自己有用感につながる。 ・学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながる。 ・地域の防犯・防災体制等の構築ができる。
教職員にとって	・地域人材を活用した教育活動が充実する。 ・地域の協力により子どもとの向き合う時間が確保できる。

Q 学校評議員会や地域教育協議会はどうなるの？

A これまで行っていた学校評価の機能については学校運営協議会が担っていくことになるため、学校評議員制度は令和3年度で終了となります。

地域教育協議会はこれまでも子どもたちのために地域での教育活動を行ってこられました。今後も、独自の活動は引き続き行われます。学校運営協議会が地域教育協議会などと一体的になり『地域とともにある学校づくり』を進めることが大切です。